

## 第1回 ONDA（大阪・構造物非破壊診断交流会） 議事録

日 時：平成18年12月26日（火） 15：15～18：10

場 所：（財）日本建築総合試験所 大阪事務所 3階大会議室

出席者：鎌田会長，葛目幹事，森幹事，永山幹事，藤原，松沢，吉田，内田（記録）

以上8名（順不同，敬称略）

配布資料：1-1 仮称“構造物非破壊診断（調査）連合 大阪（関西）”打ち合わせメモ：鎌田会長  
1-2 第2回弾性波法によるコンクリートの非破壊検査に関するシンポジウム：鎌田会長  
1-3 NDIS 原案作成提案書：鎌田会長  
1-4 コンクリート床版における疲労損傷検出へのインパクトエコー法の適用：鎌田会長  
1-5 コンクリート構造物の診断における非破壊検査の適用の現状と今後の展望：鎌田会長  
1-6 コンクリート構造物における硫酸塩劣化について：吉田会員  
1-7 橋梁 定着部超音波測定速報：藤原会員

議 事：

### 1. 会長挨拶

鎌田会長より，開催の挨拶があった。

### 2. 交流会の名称および目的・方針などについて

打ち合わせメモに従い，本会の名称や今後の方針などについて，ディスカッションした。以下に確定した事柄を示す。

- ・名 称：仮称“大阪・構造物非破壊診断交流会”（愛称：ONDA）
- ・目 的：交流会の目的を文章化
  - ・たとえば、共通試験体での共同実験を行い論文発表を行うなど，具体的活動目標を掲げるのがモチベーション向上のためには重要である。
  - ・学協会の委員会と比べて小回り（融通）の利く交流会が良い。
  - ・非破壊診断を軸とした異分野異業種の交流の場であり，情報交流だけでも十分意味がある。
  - ・本会の活動内容については外に向けて効果的に情報発信することとし，わが国における非破壊診断研究の拠点としての地位を獲得する。
  - ・診断技術者のランクを，仮に初級・中級・上級とするなら，中級診断技術者を養成するような活動もいずれ行いたい。
- ・メンバー：当面は本日参加した8名とする。
- ・運営方式：事務局は内田が担当。
- ・開催頻度：2ヶ月に1回程度。
- ・その他：本交流会のホームページを作成する。リンク先としては，大阪大学大学院社会基盤設計学領域とする。

### 3. 話題提供

- ・鎌田会長より、「第2回弾性波法によるコンクリートの非破壊検査に関するシンポジウム」開催のお知らせがあった。
- ・NDISに関する意見交換が行われた。
- ・既設床版および上面増厚補強された床版内部に発生する水平ひび割れとひび割れ発生位置の検査方法についての紹介が鎌田会長により行われた。また、物理探査学会に投稿した論文についても併せて紹介された。
- ・吉田会員から、「コンクリート構造物における硫酸塩劣化」についての紹介があった。硫化物を含んだ地盤における、住宅基礎コンクリートの物理的作用に伴う硫酸塩劣化に関する調査結果および研究成果についての説明であり、非常に興味深い内容であった。特に大阪周辺では、大阪層群と呼ばれる地層のため、このような劣化が発生しやすいとの説明があり、どこかで硫酸塩劣化らしき現象の構造物があれば、是非教えてほしいとの呼びかけもあった。
- ・藤原会員より、「橋梁 定着部超音波測定」についての報告があった。受信波形を評価パラメータとして、定着部において超音波計測を実施した結果についての説明があった。

### 4. 今後の予定

第2回交流会：平成19年2月28日（水）15：00～17：00

場所：(財)日本建築総合試験所 大阪事務所

以上

(記録：内田)